

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 共助社会づくり課

担当名: 担い手支援担当

内線: 2838

(単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|--|--------------------------|------|--|-----|-----|--------------|------------------------|-------------|
| B5 | 子どもの居場所づくり促進による貧困の連鎖解消事業 | | 一般会計 | 総務費 | 県民費 | 県民活動推進費 | 共助による地域のきずなづくり推進費 | |
| 事業期間 | 令和元年度～ 令和3年度 | 根拠法令 | | | | 宣言項目 分野施策 | 061454 多様な主体による地域社会づくり | |
| 1 事業概要 | | | 5 事業説明 | | | | | |
| <p>「子どもの居場所」づくりに取り組む団体が県内各地で継続して活動できる体制を構築するため、人材養成を通じた支援を行う。また、企業の社会貢献ニーズを掘り起し、団体とマッチングを行う。</p> <p>(1) 事務費の節減による減額 $\Delta 112$千円 (2) 事例発表者謝金等イベント開催経費が見込みを下回ったことによる減額 $\Delta 887$千円</p> | | | <p>(1) 事業内容 「子どもの居場所」づくりに取り組む団体が県内各地で継続して活動できる体制を構築するため、「子どもの居場所サポーター」を養成・マッチングし、人材面での支援を行う。また、社会貢献活動に意欲のある企業を掘り起し、「こどもの居場所」づくりに取り組む団体とマッチング、貧困の連鎖解消に向けた継続的な支援につなげる。</p> <p>ア 子ども居場所サポーター養成事業 子ども食堂や学習支援などをテーマとした連続講座を開催し、具体的な活動先へのマッチングまで行うことで、今後急速に整備が進むことが見込まれる「子どもの居場所」を支える人材を養成する。</p> <p>イ 居場所づくりサポーター・マッチング事業 社会貢献活動に意欲のある企業を「子どもの居場所」づくりに取り組む団体とマッチングし、「サポーター企業」として認定。積極的な情報発信により、企業の社会的評価を高め、継続的な支援につなげる。</p> <p>(2) 事業計画 ア 子ども居場所サポーター養成事業 サポーター養成講座(全3回×4か所)の開催、講座受講者の活動先へのマッチング。 イ 居場所づくりサポーター・マッチング事業 ・コーディネーターを通じた企業の社会貢献ニーズの掘り起し、団体とのマッチング。 ・優良事例を「モデル事業」に選定し、事例発表セミナーを開催。</p> <p>(3) 事業効果 ・具体的な社会参加機会の提供を通じて、シニアの地域社会活動参加を促進する。 ・寄付のみならず、人的・物的支援や場の提供など、企業の新しい社会貢献活動の手法の普及を促進する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・養成講座を通じて県民をサポーターとして養成し、「子どもの居場所」づくりの取組を促進する。 ・企業等民間と連携し、「子どもの居場所」づくりに取り組む団体への支援体制を構築する。</p> <p>(5) 補正予算の概要 ア 事務費節減による減額 イ 事例発表者謝金等イベント開催経費が見込みを下回ったことによる減額</p> | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 なし | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円 | | | | | | | | |
| 予算額 | | | 財 源 内 訳 | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| 決定額 | $\Delta 999$ | | | | | | $\Delta 999$ | 4,894 |
| 現計額 | 5,893 | | | | | | 5,893 | |